

平成20年度霞ヶ浦水質浄化ポスター・ジュニアレポート入賞者表彰式について

平成20年12月13日(土)に、センター多目的ホールにおいて、今年度の霞ヶ浦水質浄化ポスター・ジュニアレポート入賞者の表彰式が開催されました。

霞ヶ浦水質浄化ポスター・ジュニアレポート事業は、毎年6月～9月の夏季期間中に、県内の小中学生に霞ヶ浦の水質浄化を呼びかけるポスターや霞ヶ浦について調べたことや体験したことなどのレポートを作成してもらうことで、より多くの子どもたちに霞ヶ浦の現状を知ってもらい、水質浄化意識を高めてもらうことを目的に実施しているものです。

今年度から森林湖沼環境税を財源とした霞ヶ浦湖上体験スクール(全県の小中学生5,500名が対象)がスタートしたこともあり、今年度の応募者は、ポスターが1,513名(前年比263人増)、レポートが213名(前年比186人増)と前年度を大きく上まることができました。

今回の表彰式では、これら応募作品の中から審査会を経て選ばれた103名の応募者に対して表彰状が授与されました。(中原 清人)

ポスター最優秀賞作品



【小学校低学年部門】



【小学校高学年部門】



【中学生部門】

【投稿】霞ヶ浦湖岸を歩いてみませんか

霞ヶ浦の湖岸は252kmとなっているが、霞ヶ浦へは多数の川が流れ込んでいて、橋のある所まで遡りながら歩いて一周すると300km近くになる。

「アオコ」「ゴミの山」「背骨が曲がった鯉」などなどの問題を聞きながら、40年もの間、つくば市民として霞ヶ浦の水を飲んできた。7年前に退職したので、霞ヶ浦湖岸を10回に分けて一周してみた。堤防の草は刈り取られ、ゴミもほとんど見られず、よく管理されているのは予想外だった。しかし、湖岸で芦の先にチリ紙を巻いて、透明度を測ってみると数十センチだった。どこの湖岸もコンクリートで固められ、深さは1m以上ある。皆様がよくご存知のように、このような湖岸構造は水性植物を排除し結果、浄化作用を奪ってしまい、周辺から流れ込む水を更に悪化させていると考える。

ところで、パートナーの皆さんも霞ヶ浦を一周してみませんか?。今、私が所属して歩いている会は、芳賀和夫元筑波大学教授(当センターで2006年7月9日に「微小昆虫アザミウマと自然破壊」と題する講演をされた先生)が13年前「霞ヶ浦を一周しましょう」と募集されたとき、200人以上の予想外の大人数が集まりました。これに参加された人たちは「来年も一周しましょう」と「霞ヶ浦を歩く会」を立ち上げました。その会は今でも続き、今年は「第13回霞ヶ浦を歩く会(08.9.27~09.6.20)」として、50人が歩いています。どうぞ、パートナーの皆さんもお気軽にご参加ください。

(詳細はパートナー室に掲示してあります案内をごらん下さい)

(吉村 喜男)

当センター正面前の道路を旧出島村方面へ進むと、右手に八坂神社があるが、そのあたりから北の一角が、戸崎城の城域といわれる。

初めて探訪するにあたって、ちょうど出会った地元の女性に聞くと「今は何も残っていませんよ」と言われた。教えられた道順通り行くと土盛りされた小さい丘があり、そこが本郭（本丸）跡だった。城址は、霞ヶ浦の湖岸から1キロ程北の台地上にあり、標高は30メートル。本郭部分は、その北端に位置する。今は平らな畑地となっており、土塁などは無い。周囲に帯郭をめぐらしているのが確認できる。

南へ下ると空堀をはさんで二の郭と三の郭が、やはり畑の状態が残る。堀の土を土塁状に盛る「掻き上げ城」である。

東方向を見下ろすと一面の蓮田で、往時は水濠として自然の防御施設となっていたと思われる。

台地上には字名として天神、根小屋、中城、御南屋敷などが残っており、昔の縄張り図と現在の地形を照らし合わせてみると、城域とおぼしきあたりを比較的良く推測できる貴重な遺構である。

郭のある台地の東南方向に、蓮田を挟んで、山崎と呼ばれる小さな遺構があり、出城の機能を果たしていたのではないかとと思われる。

戸崎城築城の時期や経緯について詳しくは触れないが、15世紀以降、小田治朝所縁の海蔵寺にも近く、小田氏一族の菅谷氏の居城であったとされている。後に佐竹氏に奪われることになるのだが。

なお、当センターの坂下、県道118号線の湖岸寄りの蓮田の中に、小田氏の居館と伝えられる沖宿堀ノ内館跡があるそうだ。

いずれにしても、もしご興味があれば、ご探訪あれ！



戸崎城の主郭跡と案内板



八坂神社の裏手に残る土塁と空堀の遺構
(細谷 浩)

竹林にドラム缶で作った炭窯がある。焚口は、ブリキと1斗缶を利用した。今回の焼き材は竹と梅の小枝である。

午前7時、あいにくの曇り空で気温も8度とかなり低い。暖を取るためにたき火をする。火は勢いを増し暖かく、このままたき火をしながら焼き芋でも焼いてすごそうかと気持ちが揺らぐ。

よし！ 気持ちを引き締めたき火の火種を炭窯の焚口に移し、いよいよ作業開始だ。火が思うように窯に入らない。窯の中は温度も低く酸欠状態のせいと思われる。秘密兵器の登場である。その名も“うちわ”。この団扇を使いパタパタと風を送ると、火も窯に入り煙突から煙がふわふわと上がる。団扇で風を送る作業を止めると、焚口の火が逆流し表に吹き出す。また団扇で風を送る。

同じ作業を繰り返すこと、約2時間。やっと焚口の火が風を送らなくても炭窯の中へ吸い込まれるようになった。煙突からはもくもくと真っ白な煙が立ち上がっている。

そろそろ竹酢液を採ることができ。二つに割った竹筒を煙突にかざし煙を受け、自然に冷やされて滴り落ちる水滴を器に受ける。今回の竹酢液は色濃く、タール分が多くなってしまった。焚口に火をいれ、煙突口の温度と立ち上がる煙の色を観察し続けること約24時間。

ヤッター！ 立ち上がる煙は透明だ。窯の中の材料が完全に炭化した事の合図。焚口も煙突も泥んこ玉で密封してから一昼夜。窯の温度が下がるのを待って、炭窯のふたを開ける。

る。

残念、約4割が灰になってしまった。火入れの時間が長すぎたために、手前の材料が燃えてしまったことと思われる。



竹の焼材料



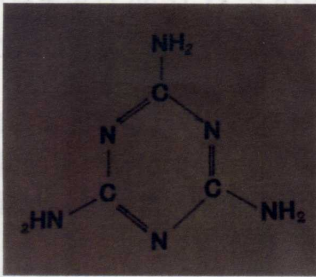
缶に入れた



焼きあがった

(山中 章)

メラミン



この写真の構造式は何かお分かりですか？六角形のトリアジン核に3つのアミノ基をもったいかにも頑丈そうな化合物ですね。そうです。昨年TVやラジオ報道や新聞の活字をにぎわし、中国で牛乳、粉ミルク、

菓子、パン、卵や家畜飼料等の中に含まれていたメラミンです。

この化合物は大変古くからありますが、以前は、メラニン色素とよく間違えられて一般には殆ど知られていませんでした。ところが、最近、食品添加物のような使われ方をして一躍悪者扱いにされてしまいました。メラミンに携わった者の一人としてこんな形で評判を落としたことは大変残念です。

たんぱく質の含有量を窒素分(N)で測定されるためメラミンのような窒素を多く含んだ化合物(N含有率67%)を加えることで、たんぱく質分を多く見せるためです。そのぶんたんぱく質を減らすことができます。

本来のメラミン用途は、ホルマリンと反応させ、樹脂として利用されます。建築の基礎工事の際のコンクリート注入に利用される型枠用合板の接着剤、熱に強く、割れないメラミン食器、表面がツルツルの硬い化粧板、耐候性のよい自動車塗料、それに水に濡れても破れないようにお札にも入っています。

こんな大切な役目を果たしているメラミンを正しく理解してもらうために、筆をとらせていただきました。(平江)

研修方程式

今年の年賀状の余白には、長らくご無沙汰の友には「元気でおります」の次に「茨城県霞ヶ浦環境科学センターでボランティアをしております、来場者に簡単な水質分析研修などのお手伝いをしております」と書いた。何枚か書いていくうちにその昔職場の同僚と研修の理想像について、熱く語った事を思い出した。今回は新年の座興として、それを紹介したい。

研修の理想像は、受講生から見れば好きなことを、好きな時に、好きなだけ行うことである。一方、研修する側としてはおそらく研修を必要とする者に、最小の時間で最大の効果を求めることである、ということであった。

そしてこの関係を数式化すると、次の“研修方程式”が出来上がった。 $y=ax+b$ である。

ここでyは研修の効果、xは受講生の研修に対する好奇心の度合、aは好奇心を研修効果に換算する正の定数、bは個人差の反映しない研修必要度です。

つまり、仕事(児童・生徒の場合は現在学校で学んでいること)に関係の深い研修の効果は、個人差は少ないが、一般教養的な研修は、個人の関心度が大切である、ということです。この式は単純すぎる、とおっしゃる方には、単純なものほど真理に近い、という意味を込めて“酒量方程式”を紹介します。

これは、昔読んだ新聞の単身赴任に関する記事からの引用ですが、先程の式にyは飲酒量、xはストレスの量、aは定数、そしてbには標準の飲酒量を当て嵌めてみて下さい。あなたは如何ですか。(浅野)

今 思えば・・・

恐縮ですが私の現役時代に経験した事を少しお話します。それは、ある課に責任者として人事異動した時のことです。総数200名の職場でしたが何となく外から見ていた時と違い、新任の私には元気がないように見受けられました。私は、しばらく状況を見ることにしました。その中で分かってきた事は、伝統ある職場のためか、モラルも含めマンネリ化していることでした。そこで、私は毎日2時間ぐらい職場巡回時間にあて、自らゴミ拾いを含め目の届きにくい場所の整理清掃から始めました、初めは、職員もそのうち止めるのだろうかぐらいの気持ちで眺めていた様ですが、私はこの行動を半年間続けました。

すると課員に変化が起き始めたのです。今まで、通路に落ちているゴミなど気付かず拾いもしなかったのですが、ある時、課員の一人が拾っているではありませんか。私は離れた所からそれを目撃し急いでその課員に近づき、お礼を言いました。課員は一言「拾わないと気持ちが悪いので」と言ってくれました。私は、どんな些細な事でも信念を持って行動していればいつか自分も含め、人をも変えることができるのだと痛感しました。

環境問題が叫ばれている昨今、いつも感じることですが霞ヶ浦湖畔のゴミを見てもいっこうに減らないことです。そこで、いつも比較されるのが琵琶湖です。

先日のテレビ放映で感じたことは、湖の形態や昔からの生活環境の違いこそあれ、そこで生活する大勢の人達の琵琶湖を愛してやまない優しさが、霞ヶ浦より強いことをあらためて感じました。

私たちも負けなぐらい環境改善に努力しているつもりですが、もう少し強い意識を持ち身近な事からでも地道に行動することが大切なのだと思います。(尾形)

温泉巡り

ここ10年位、温泉めぐりを楽しんでいる。温泉といっても高級温泉旅館に泊まるのではなく、出掛けた途中に入る日帰り温泉・共同浴場である。

現在の日本の温泉法では温泉採取時の温度が25℃以上、あるいは定められた成分が規定以上含まれている泉水が“温泉”と認められている。また、掘削技術の進歩で千メートル以上の深さも容易に掘れるようになり、全国至る所に立派な日帰り温泉施設ができています。

どこが良いかは個人の好みで、また季節によっても変わってくるが、これまでにいった中で印象に残った幾つかをあげてみます。

知床のカムイワッカ川上流の大滝の滝壺がそのまま天然の露天風呂になっている「カムイワッカ温泉」、荒波の立つ日本海の波打ち際の露天風呂「黄金崎不老不死温泉」(青森県)、紅葉の真ん中の露天風呂「姥湯温泉」(山形県)、善光寺平が見渡せる馬曲温泉・望郷の湯(長野県)など大自然に抱かれ季節を五感で感じられる露天風呂が良かったです。



姥湯温泉

茨城県内で最近気に入っている所は

「月居温泉・滝見の湯」(大子町)です。地元の人たちが運営する小さな素朴な温泉です。焼酎をこの温泉で割って飲むのも結構イケます。

皆様が行かれて良かったところがありましたら、是非教えてください。(安川)

孫たちと過ごした年末年始。今後は???

次男が双子の孫(平成18年11月30日生まれで2歳と1ヵ月になる二卵性双生児の悠人(男)、沙希(女))を連れ4人で暮の30日から元日までの3日間、泊りがけでやってきた。彼らは1年前まではこの家で私共と一緒に暮らしていたが、嫁(看護師)の産休明けと同時に仕事先の関係で常総市(旧水海道市)にアパートを借りて住んでいる。

これまでは月に1回くらい季節の衣服の取り替えや忘れ物探しにやって来たが、滞在時間は最大でも1時間ぐらいですぐに帰っていた。このため当初は“じいちゃん”“ばあちゃん”に馴染めず、パパ、ママの足に絡まっていたが、次第に抱っこしろ、三輪車の後押しをしろと慣れてきた。アパートでは屋外で遊ぶところもないため庭の芝生や空き地を喜んで駆け回り、怪我でもさせたら大変と私共老夫婦も久しぶりにはしゃぎ疲れを満喫しました。

二卵性の男・女の双子であるため性格も行動様式もまったく違い、玩具や物の取りっこは日常茶飯事で今が一番大変な時期かもしれません。でも私たちににとっては今が一番可愛い盛りです。来年4月には土浦市の幼稚園に入れるため帰って来るようで、送り迎えが私共の役割となると、今の様にはいかず、パートナー活動も大きく制限されそうです。

元日には埼玉県熊谷市に住む長男一家4人(中2と小5の女孫)が合流し手巻き寿司の昼食を囲み、賑やかなお正月を迎えることができた。中2のお姉ちゃんは部活の音楽部でトロンボーンを吹いて演奏が始まると、幼い双子の孫は吃驚仰天、身じろぎもせず聞いていました。演奏が終わると楽器を恐る恐る触りながら、お姉ちゃんに一生懸命何か聞いているのですが、何を言っているのか誰にも分



かりませんでした。夕方2家族とも一斉に次の行動のため帰って行った後は、孫と遊べた満足感と寂しさで一気に疲れを感じた今年のお正月でした。(有吉)

香澄俳壇

カラカラと我を追い越す枯葉かな
影長く障子に写る初春の陽
(尾形)

香澄川柳

定年の若葉マークも板につき
主夫業も様になりつつうす笑い
俺も行くそんな言葉は口にせぬ
(尾形)
世界不況皆で見る底こわくない
初詣後日行ったら定休日
年金特別使よくよく見たら遺族
年金
(栗原)

【パートナー香澄】の原稿を募集しています。原稿はパートナー室のボックスにお入れください。次回の締め切りは3月末日です。

編集委員

尾形 孝彦
浅野 明宏
有吉 潔
大島 寿夫
栗原 知彦
平江 俊之
安川 敏行
稲葉 寛